

平成24 年度地域自主戦略交付金に係る評価結果

熊本県

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	評価結果
1	<p>社会資本整備重点計画の一つである「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づき、円滑化対策事業として指定されたエリア内における道路の新設・改良等に伴い、信号機、道路標識・標示を整備をすることで円滑化と交通事故防止を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信号機新設～ 1か所（定周期式1） ・ 信号機改良～ 26か所 ・ 信号機LED化～ 20か所 ・ 道路標識～ 479本 ・ 道路標示～ 31km ・ 信号機電源付加装置～ 2基 	H24	—	<p>交通安全施設として、交差点等における交通事故防止と交通の円滑化のため、信号機では、道の駅「うき」前の交差点に信号機1か所を新設し、信号機26か所に閃光式半感応化、制御機更新等実施し、また、幹線道路の20か所の信号機をLED化により視認性を向上させた。</p> <p>道路標識では、オーバーハング式20本・路側式459本、道路標示では、横断歩道16km、実線15kmを整備した。</p> <p>※ 信号機電源付加装置2基は平成25年度整備予定。</p>
2	<p>社会福祉施設の老朽化等に伴う大規模修繕等を実施し、施設の安全性や機能を高めることで、サービス提供時の利用者の安全性・快適性等を確保する。</p>	H24	—	<p>H25年3月より施設修繕の工事に着工したが、年度内には終了せず、H25年8月に完了する予定。</p> <p>施設の修繕により、利用者の安全性・快適性等の確保が見込まれる。</p>
7	<p>地域産物（米粉）の販売量の増加（％） $= \frac{(\text{平成20年度} \sim \text{平成24年度販売目標量}) \text{ t}}{(\text{平成15年度} \sim \text{平成19年度販売量}) \text{ t}} \times 100 - 100$</p>	H24	—	<p>県内における米粉用米の生産を振興するとともに、米粉の製粉施設を整備することで、米粉の生産拡大を進めてきた。さらに、一般消費者に向けた米粉の利用法を提案するなど、米粉の需要拡大を図った結果、県内の米粉販売量の増加に結び付いた。</p> <p>地域産物（米粉）の販売量の増加（％） $= \frac{2205 \text{ t}}{22 \text{ t}} \times 100 - 100 = 9922.7$</p>
14	<p>【目標】 各地域間の連携や物流の促進による地域の活性化、九州新幹線全線開業を景気とした来訪者との交流促進を図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阿蘇、天草方面への道路の走りやすさ（☆5段階評価）を☆3（H18）から☆4（H24）に向上（※道路利用者へのアンケート調査等による評価） ・ 県内宿泊施設の宿泊者数を672万人（H18）から750万人（H24）に増加 ・ 県内企業の製造品出荷額を2.8兆円（H18）から4.0兆円（H23）に増加 	H24	—	<p>宿泊者数は、H19に690万人まで伸びたが、H20の世界同時不況、隣県での口蹄疫発生、円高の高止まり等の外的要因もあり、H23は659万人に留まっている。</p> <p>製造品出荷額は、H20の世界同時不況の発生等により額が同年に大きく落ち込み、その後徐々に持ち直しているものの、H23は2.5兆円に留まっている。</p> <p>※ 当該事業がH25に繰越していることから、走りやすさの調査はH25（最終年度）に実施予定。</p>